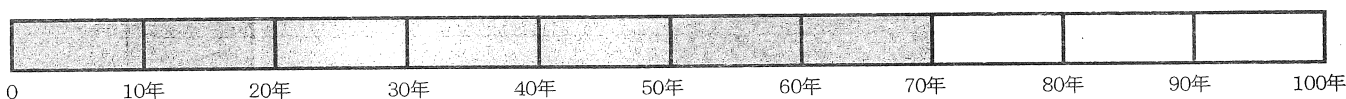


1、10～11 節のみ言葉をみて、 に書き入れよう。

主はこう言われる、バビロンで七十年が満ちるならば、わたしはあなたがたを顧み、
 わたしの約束を果し、あなたがたをこの所に導き帰る。主は言われる、わたしが
 あなたがたに対していただいている はわたしが知っている。それは
 を与えようというのではなく、 を与えようとするものであり、
 あなたがたに を与え、 を与えようとするものである。

エシヤ 29・10～11



2、ユダの国は、バビロン帝国のネブカデネザル王にほろぼされ、ユダの人々は、70 年間も
 奴隷になっていたのです。これを『バビロン捕囚（ほしゅう）』と言います。神様の約束は
 「こらしめの70 年が過ぎたらエルサレムに帰れるよ」というものでした。

(1) 上の 100 年間の図に、下の①～⑤を、それぞれ「↑」で印をつけてみよう。

- ①あなたの今の年令と ②70 年後の年令
- ③聖書の言う人間の寿命（詩篇 90・10）
- ④日本人の平均年齢、男 78 才、女 84 才
- ⑤あなたのおじいちゃんおばあちゃんの年令

こうしてみると、70 年っ
 て、人間の一生の間と同じ
 ぐらい、長いんだね。



(2) 神様の約束は、「70 年が満ちるならば」という
 ものでした。あなたは 70 年間待てますか。

〔 はい ・ いいえ 〕

3、この「バビロン捕囚」の意味を、下の『氷山の絵』を見ながら話し合ってみよう。

(1) 試練の原因

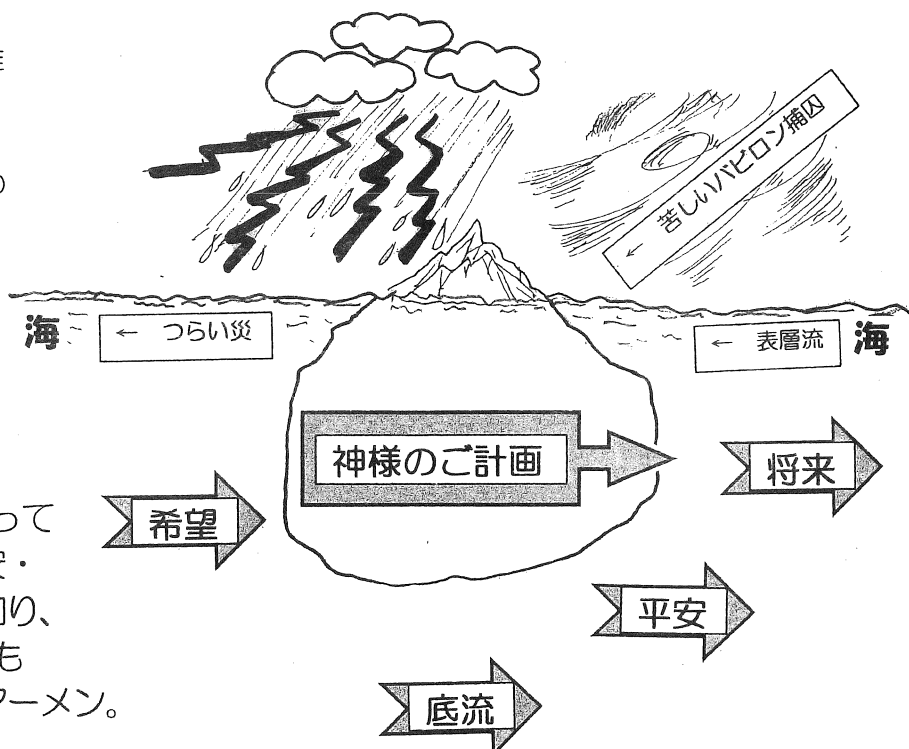
・・・ユダの人々の罪、偶像礼拝

(2) 試練の目的

- ・・・①罪のこらしめ
- ②罪を悔い改めさせるため
- ③信仰を強めるため

(3) 試練の最後

- ・・・①エルサレムに帰れる
- ②繁栄の回復
- ③神様との交わりの回復



③ 神様、罪のための苦しみや、
 理由のわからない試練があっても、
 神様のご計画は、「平安・
 将来・希望」であることを知り、
 感謝します。どんなときでも
 神様に信頼します。・・・アーメン。



BC 7世紀~ バビロン 帝国

BC 6世紀~ ペルシャ 帝国

← ネブカデネザル 王 →

← クロス 王 →



1、み言葉を書きましょう。

エズラ 1・3

フッフッフッフ
ッ…君は思いた
せるかな…

クロス王が出した命令は「荒れ果てたエルサレムを回復し、神殿を建てなおせ」という意味で、先週のみ言葉（Ⅱマ 29・11→）の預言の成就です。どうして、そんなことができたのでしょうか。

主は言われる、わたしがあなたのために對していてい
る計画はわたしが知っている。それは災を与えようとい
うのではなく、平安を与えようとするものであり、あな
たのために将来を与え、希望を与えようとするものである。

2、「バビロンのネブカデネザル王」と「ペルシャのクロス王」について調べよう。

(1) この二人はどういう関係でしょう。○をしよう。

〔 父と子 ・ しんせき ・ 友だち ・ おとなりの人 ・ 戦争で戦った敵国の王 〕

(2) この二人は同じ時代に生きていましたか。○をしよう。

〔 はい ・ いいえ → (ネブカデネザル王が先 クロス王が先) 〕

(3) この二人は、なに人ですか。○をしよう。

〔 ユダヤ人 異邦人 日本人 アメリカ人 宇宙人 〕



3、バビロン帝国のネブカデネザル王によってユダの国がほろぼされた時には、神様から『エルサレム回復の預言』（Ⅱマ 29・11）があたえられました。そして、その 70 年後、ペルシャ帝国のクロス王によって『エルサレム回復の命令』が出されたのです。同じ時代に生きていなかったこの二人は、会ったことも話したこともないのです。どうしてそんなことができたのでしょうか。正しいと思うほうに○をしよう。

全てを計画し実行される神様が、このことを行なった。だから、ネブカデネザル王もクロス王も、神様に用いられたにすぎない。

ネブカデネザル王が秘密の手紙を書き、あとで、たまたま、クロス王がそれを読んで感激し、その通りに実行した。

つまり、神様は、人の心を感動させ、世界も歴史も自由に動かすことのできるお方なのです。昔も今も、世界は神様のご計画の通りに動いているのです。



4、あなたもこの神様に生かされ、神様のご計画の中にいることがわかりますか。

〔 は い いいえ 〕

③ 神様、あなたはこの私にもご計画を持っておられ、み言葉をもって導いてくださっていることを感謝します。み言葉に従う者とさせてください。・・・ アーメン。

1、み言葉を書きましょう。

ことは あなたがたの

です。

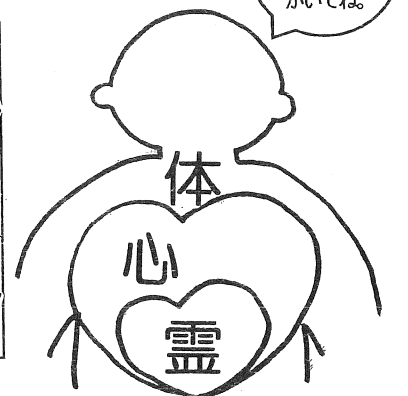
ネヘミヤ 8・10

2、ユダの人々は、みんなで協力して神殿を完成させましたが、信仰が強まらず、罪を犯して偶像礼拝の中に陥っていたのです。しかし、その後、信仰が回復して「リバイバル」（信仰復興）が起きました。どうしてそうなったか絵を見ながら説明してください。

<p>①神殿は完成したが、信仰がたるんでいた。</p>	<p>②律法の書（聖書）を読み聞かせた。</p>	<p>③民は罪がわかり、涙の悔い改めをした。</p>	<p>④主を喜び力にあふれリバイバルが起こった。</p>

3、人間の構造は「霊と心と体」（Ⅰテロク5・23）です。この3つそれぞれに必要な栄養分があり、それが満たされると「喜び」や「力」がわくのです。

	必要な栄養分	それがないと	満たされると・・・	顔
体	『衣食住』、健康	空腹、病気、苦痛	満腹、体力、元気	
心	人々との交わり、『知情意』	さびしい、なまけ心	神殿ができてうれしい、楽しい	
霊	神様との交わり、神の言葉・聖書、罪の悔い改め	罪、汚れ、偶像礼拝	神様との関係が回復し、心の奥底から主を喜び、力がわく	



参考にあ…①詩篇119・130「み言葉が開けると光を放って、無学な者に知恵を与えます。」

②マタイ4・4「人はパンだけで生きるものではなく、神の口から出る一つ一つの言で生きるものである」

4、あなたの信仰は、今、たるんでいませんか。あなたにもリバイバル（信仰復興）が必要ではありませんか。そのために必要なことを3つ、今日の学びから書き出そう。

①

②

③

③

神様、私の信仰はたるんでいます。①聖書を読み、②罪の悔い改めをはっきりし、③神様との関係を回復していきます。どうぞ、たすけてください。・・・アーメン。

1、み言葉を書きましょう。

エステル 4・16

エステル



2、エステルはユダヤ人でしたが、王妃でしたから、黙っていれば自分は安全だったのです。しかし、同族ユダヤ人を救うために、3つのものを捨てて立ち上がったのです。下の3つに当てはまる絵をそれぞれ線で結ぼう。

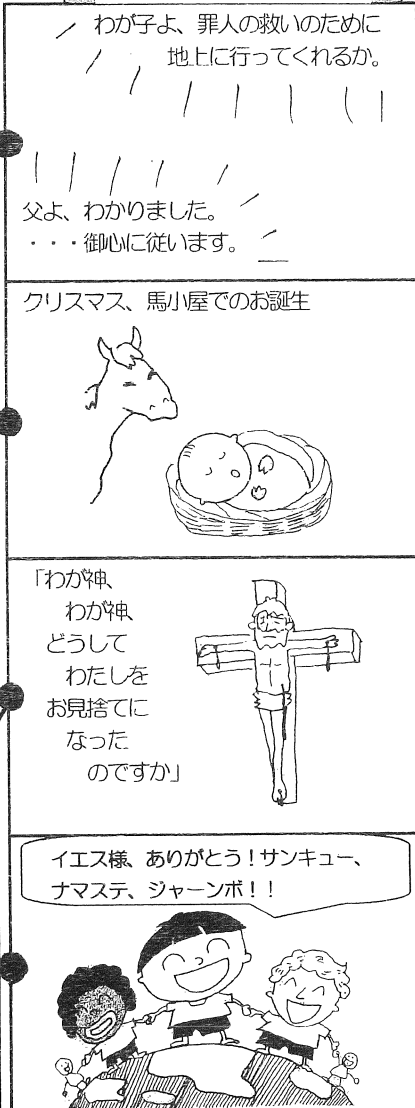
自分の将来

安全な生活

自分の命

また、イエス様がしてくださったことも当てはまるものがあったら線で結ぼう。

イエス様



3、エステルが3つのものを捨てたように、あなたもお友だちや家族の救いのために、何かを犠牲にすることはありますか。小さいことでいいのです。イエス様の犠牲の愛にこたえて、何かをささげてイエス様を伝えよう。

()

③ 神様、エステルが自分の同族ユダヤ人を救うために、すべてを捨てたように、私も人の救いのために立ち上がらせてください。自分の思いをがまんして、神様に従うことができますように。...

アーメン。

1、 に書き入れて、み言葉を完成させましょう。

だれでも

ならば、その人は

である。

は過ぎ去った、見よ、すべてが

のである。 **Ⅱコリント5・17**



接木（つぎき）って知ってる？柿やミカンは野生種の木の幹に、おいしい品種の実のなる枝をつなげることなんだよ。そうすると枝は幹の養分をもらってよい実をならせるのさ。「キリストにある」とは、罪人である私たちがキリストに「接木」されるようなものなんだよ。

2、神様が作られた自然界には、いろんな不思議があります。その不思議の中に神様のメッセージがかくされているのです。昆虫の変態（姿が変わっていくこと）について「モンシロチョウ」例に見てみましょう。



卵のときから、ずっと同じ命が続いているんだけど、姿はすっかり変わり、住むところもキャベツから大空へと変わりました。すごい変化だね。

3、では、パウロはどのように変わったのでしょうか。話し合ってみよう。



サウロ（パウロの昔の名前）もパウロも同じ人物です。姿は同じですが、中味はまったく変わってしまいました。イエス様を憎んで、クリスチャンを殺そうとしていたのに、イエス様を命がけでのべつたえるクリスチャンになったのです。すごい変化だね。



4、あなたも、本当に罪を悔い改めて、イエス様を信じたら、あなたの中味もまったく新しいものに変わるのです。信じますか。○をしよう。

はい

いいえ

③ 神様、罪人の私も、キリストにあるならば、まったく新しい者に造りかえてくださることを感謝します。日々、新しい力で生かしてください。・・・ アーメン。

1. に書き入れて、み言葉を完成させましょう。

わたしたちが と呼ばれるためには、どんなに
 を父から賜わったことか、よく考えてみなさい。
わたしたちは、すでに なのである。 **1ヨハネ3・1**

2. あなたの価値の大きさを考えてみましょう。

(1) 定価 100 円のボールペンを 1 本買うために、いくら支払いますか。

①



②



③



(2) それはなぜですか。

① 無理やりに安く
まけさせたから

② 100 円と等しい価値だから

③ 「つりはいらねえよ」と一回
言ってみたかったから

(3) あなたが、罪の滅びから助け出されるために支払われた代価は、いくらですか。

① 1 億円

② イエス様の命

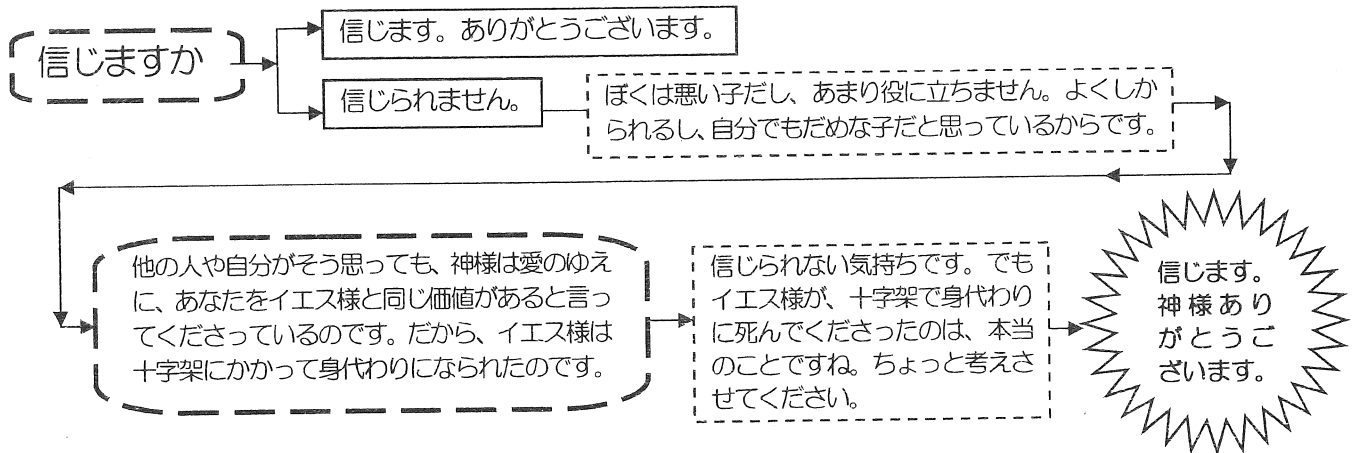
(4) それはなぜですか。

① 交通事故で死んだら
1 億円もらえるから

② イエス様の命と等しい
価値があるから



3. つまり、あなたの命の重さ（価値）はイエス様の命と同じなのです。



4. 神様の目から見たとき、あなたには神の一人子イエス様
と同じ価値があるとすれば、あなたが「神の子」と言わ
れることは、正しいですか、まちがいですか。○をしてね。

③ 神様、わたしが神様の愛のゆえに、また、イエス様の十字架のゆえに「神の子」と
されていることを心から感謝します。それにふさわしく生きるように努めます。
弱い私を助けてください。・・・ アーメン。

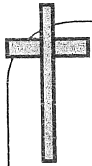
1、み言葉を書きましょう。

を

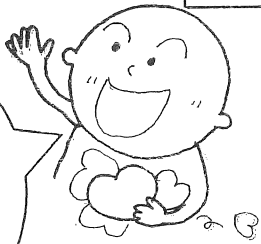
エペソ 5・2

2、「愛のうち」とは、なにですか。

○をしよう。



十字架のイエス様の愛をいつもいただいているんだ。



I know『血』。
オー、イタ〜イ
デスネー！



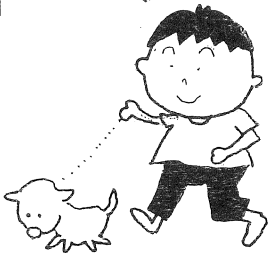
「愛」農地

セッセ！
セッセ！

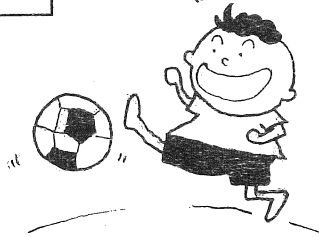


3、「歩く」とは、どうすることですか。○をしよう。

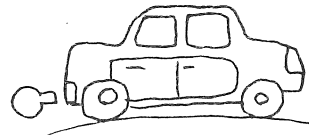
散歩すること



生活すること



ドライブすること

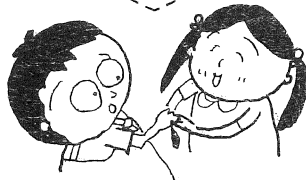


4、イエス様の愛のうちを歩く「あなた」は、こんなとき、どうしますか。

悪いことしてしまった



助けてもらった



人を愛せない



③

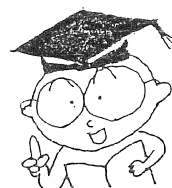
神様、イエス様が十字架で命を捨てて私を愛してくださいました。その愛をいただいて生活します。「ごめんなさい」「ありがとう」をいつも言えるように、また、イエス様の愛をいただくために祈り求めることができますように。・・・ アーメン。

1、み言葉を書きましょう。

あなたがたは、以前は であったが、
今は主にあって となっている。

らしく歩きなさい。エペソ5・8

2、私たちにとって「光」と言えば、まず太陽ですね。
ですから、「太陽」と「地球」と「月」を考えてみ
ましょう。太陽は自分で光る「恒星」、地球は
太陽の周りを回る「惑星」、月は地球の周りを
回る「衛星」です。



- (1) 図を見ながら、太陽の光があたる所と陰になる
所を確認してください。
- (2) 月は地球の陰に入ると(Bの位置)光が
当たらないので真っ暗になり、地球から
は見えなくなります。
- (3) しかし、太陽の光があたる所に出る
と(Aの位置)光を反射して、
夜輝くのです。満月や半月、三
日月は、光の当たっている部
分が、そういう形に見え
るのです。

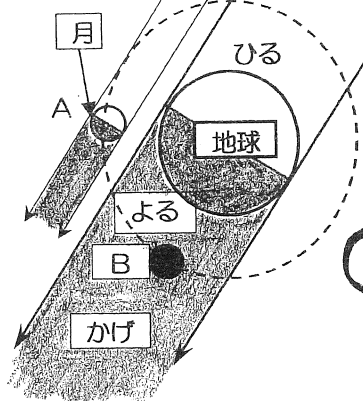
3、月の出ていない夜道を歩
いたことはありますか。
暗くて歩けなかった
でしょう。

太陽光

4、イエス様は、「まことの
光」(ヨハネ1・9)です
から、太陽のようなものです。
私たち人間は、月のようで、
自分では光れません。しか
し、イエス様の光を受け
たら、反射して光るのです。

5、「主にあって光となる」とは、太陽
に照らされて月が光っているように、イ
エス様のきよい光に照らされて、光っ
ているということです。(13~14節)

6、罪の暗やみをイエス様の光に照らしていただい
くとは、どうすることでしょうか。
(Iヨハネ1・9を参考に答えてください。)



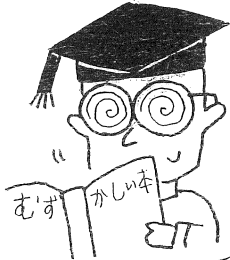
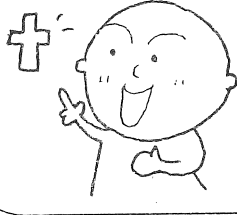


③ 神様、私の罪をあなたの前に告白します。あなたの光で照らし、
光の子として歩ませてください。・・・ アーメン。

1、み言葉を書きましょう。

のように歩き、 を
生かして用いなさい。今は悪い時代なのである。

エペ/5・15~16

2、「賢い者」ってどんな人のことですか。2つに○をしよう。

<p>勉強ができる人</p> 	<p>神様を信じてみ言葉に従って歩む人</p> 	<p>酒に酔って、楽しみばかり求める人</p> 	<p>「今の時」を生かして用いる人</p> 
---	--	---	--

3、今は悪い時代です。人間の罪がはびこり、サタンが働いているからです。だから、いろいろな事件がおこり、危険や誘惑もいっぱいあります。その中であなたは「賢い者」として成長していくことが必要です。そのために、どういう準備をしたらよいのでしょうか。「もう、そのようにしてるよ」と思うものに○をしよう。

- | | | | |
|-------------------------|---------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|
| ①聖書をよく読んで神様の心を知る。 | ②毎日の神様とのお交わりを大切にする。 | ③聖句暗唱大会で、しっかりとみ言葉を覚えて心の武装をする。 | ④教会学校に毎週来る。 |
| ⑤家族が救われて一緒に天国に行けるように祈る。 | ⑥教会学校の友だちが一生の信仰の友になれるように、大切にする。 | ⑦日本にリバイバルが来るように祈る。 | ⑧ニュースや新聞で、今何が起っているかを知って家族と話し合う。 |
| ⑨友達にイエス様こそ救い主だよと知らせる。 | ⑩占いの罪や、麻薬、覚せい剤のことも聞いて知っておく。 | ⑪牧師先生や教会学校の先生との関係を大切にする。 | ⑫家族を大切にする。 |
| ⑬礼拝を大切にする。 | | | |

③ 神様、この世は、いつも悪い時代であっても、いつもイエス様が守り導いてくださることを感謝します。神様を第一として歩む賢い者としてください。・・・アーメン。

1、み言葉を書きましょう。

に至るまで であれ。そうすれば、
 を与えよう。 ヨハネの黙示録2・10

2、最近、こわい事件、事故、災害、こわい人など・・・心配になることありましたか。それは、結局、何がこわいのだと思いますか。考えて話し合ってみよう。

（ ない ・ ある→ 何が… ）

3、このみ言葉が語られたとき、クリスチャンたちはたくさんの迫害の中にあって多くの人が殉教（イエス様を信じているために殺されること）し、こわいことがたくさんありました。このみ言葉で、何が大切でしょうか。一つに○をしよう。

①迫害を受けて死ぬこと

②イエス様にどこまでも忠実であること

③「いのちの冠」をいただくこと

4、み言葉は、イエス様に対して「忠実」であることが大切だと、^{きょうちよう}強調しています。「死に至るまで」は期間限定であること、「いのちの冠」は忠実であったことのごほうびです。では、「忠実」ってどういう意味でしょうか。一つに○をしよう。

①言われた通りに、最後まで、心を込めて、やりぬくこと

②ネズミがチューとないて木の実を食べること

③二つの耳が中耳炎になること（チューツ）

お話おじさんの時間だよ〜ん。



『忠犬ハチ公』って知ってますか？大正時代のお話です。子どもがいなかった上野英三郎という大学の先生が、秋田犬の子犬を知人からもらい受け、名前を「ハチ」とつけて、自分の子どものかわいがって育てていました。ハチは大きく立派な犬になり、先生の送り迎えを渋谷駅まで毎日するようになりました。しかし、2年もたたないうちに、上野先生は講演中に脳溢血で倒れ、帰らぬ人となってしまったのです。それを知ってか、知らずか、その後もハチは、夕方になると、東京渋谷の改札口に座り、ご主人の上野先生を待ち続けたのです。暑い日も、雨の日も、雪の日も、ハチは改札前に座りつづけました。昭和10年（1935年）3月8日、13歳で死ぬまで、体の動く限りご主人を待ち続けたのです。このハチの忠実ぶりに感動した人々が銅像を建て、映画を作りました。今は、東京渋谷駅と秋田県大館駅には銅像が建っています。また、ハチの剥製は国立科学博物館に保存されています。〔ウツウツッ〜 涙〕

5、あなたは、なぜイエス様に忠実であらうとしますのですか。

①もうちょっとのしんぼうだから。

②イエス様は天地万物の創造者、愛の神、私のために命を捨ててくださったから。

③「いのちの冠」だけが目当て。

ハチに負けるな。



③ 神様、私のためにすべてをなしとげ、私を愛し、命を捨ててくださってありがとうございます。私も死に至るまであなたに忠実に歩みます。・・・ アーメン。

1、み言葉を書きましょう。

この「わたし」とはイエス様のことだよ。

見よ、わたしは [] の外に立って、たたいている。
 だれでもわたしの声を聞いて [] をあけるなら、
 わたしはその [] にはいって彼と [] し、
 彼もまたわたしと [] するであろう。

ヨハネの黙示録3・20

2、このみ言葉を観察しよう。

この戸には、内側にしかノブ（取っ手）がないんだって。

(1) この「戸」はどこの戸でしょうか。

- [①私の「心」の戸] [②私の「家」の戸] [③にここ食堂のとびら] [④天国のとびら]

(2) このみ言葉からすると、今、イエス様はどこにおられますか。

- [①私の心の「中」] [②私の心の「外」] [③遠い天国] [④食堂の外]

ラオデキヤの教会の人々も、最初は心からイエス様を信じて心に受け入れたのです。しかし、物が豊富で生活が豊かだったので、だんだんと信仰が生ぬるくなっていったのです。その原因は、イエス様を心の中から追い出して、自分が王座に座ってしまっていたことでした。そのために、まずイエス様を、もう一度、心にお迎えすることが必要だったのです。



3、さて、あなたの心の中をしめているものは何でしょう。イエス様はおられますか。あなたの宝は何ですか。→「あなたの宝のある所には、心もあるからである。」(マタイ6・21)

[]

4、人間は物が豊かになり、物事が自分の思い通りになると神様を忘れてしまいやすいのです。こんなことを思った覚えはないですか。

①イエス様、今日だけ私が王座に座ります。明日にはお返ししますから。

②イエス様、これだけちょっと目をつぶっておいてください。

③イエス様、今は大丈夫です。ピンチになったときだけお願いします。

5、イエス様は、柔和なお方で、あなたが自分で戸を開けるのを、じっと待っておられるのです。あなたが「いやだ」というならいつまでも待っておられます。マタイ11・28~30を読んでから、あなたの心の戸を開けるかどうか、イエス様にお答えしよう。

[]

③ 神様、イエス様を追い出して、ごめんなさい。これからずっとイエス様を心の王座にむかえいれ続けます。不信仰な私を助けてください。・・・ アーメン。

1、み言葉を書きましょう。

ルカ 23・43

2、「死」ということを考えてみましょう。

(1) あなたに質問です。

- ①あなたは自分が「死ぬ」ことを知っていますか。(はい ・ いいえ)
 ②それなら、「今」死んでも大丈夫という準備はできていますか。(はい ・ いいえ)
 ③なぜですか。()
 ④「雨にはカサ」「テストには勉強」と準備するあなたが、一番大切な死の準備ができていないという事は、つまり、死ぬことが本当にはわかっていないということですね。(はい・いいえ)

(2) 聖書に聞いてみよう。(に書き入れてね。)

- ①聖書は、死後の世界について「天国と地獄の間には『大きな淵』があり、行き来できないこと、死んでからは行き先は変えられないこと」が書いてあります。(→ ルカ16・19～31、26節)
 ②逆に言うと、『 前なら、地獄行きから天国行きに 』ということです。
 ③つまり、生きてさえいれば、死ぬ1秒前であっても、天国行きに変えられる、ということです。

3、イエス様が十字架にかけられたとき、二人の犯罪人も一緒に死刑になりました。

- (1) 最初は、二人ともイエス様をののしっていました。(→ マタイ27・44、マルコ15・32) ところが、今日の聖書箇所では、一人はののしり、一人はそれをたしなめた、とあります。つまり、一人は途中で心が変わり、イエス様を救い主と信じたということです。
 (2) どうして変わったのでしょうか。その直前に言われたイエス様の言葉を書いてから、考えてみよう。

ルカ 23・34

- (3) あなたはやられたらやりかえすでしょう。悪くないのに「悪い」と言われ、バカにされたら涙を流しておこるでしょう。ところが、イエス様はご自分は何も悪くないのに十字架で死刑にされたのです。しかも、「神様、この人たちをゆるしてあげてください」と自分を殺す人間(ユダヤ人、ローマ兵、異邦人、通行人・・・)のために祈られたのです。
 (4) その犯罪人は、頭の中がパニックになりました。「オレの心の中は怒りと憎しみと恐怖でいっぱいなのに、どうしてこの人はこんなことが言えるんだ。オレは犯罪を犯したのだから死刑になって当然だが、この人は何も悪いことをしていない。しかも、自分を殺す者のために祈ってる・・・」
 (5) その犯罪人は、パニックになった頭の中で「このお方はいったいだれだ…」と考え続けたのです。
 (6) そして、ついに「このお方こそ、本当に、救い主だ」と確信したのです。

4、二人の犯罪人の違いはどこにあったと思いますか。に「信仰だけ」と書き入れよう。

- (1) それは、「①自分の罪を認め、②イエス様を救い主と信じた」かどうかにあったのです。救われた犯罪人は、受洗も、良い行いも信仰生活もできませんでした。ただ で救われたのです。
 (2) あなたもただ で救われ、あなたの家族も友人もただ で救われるのです。

③ 神様、ただ信仰だけで救われ、生きてさえいればそのチャンスがあることを知りま
 した。イエス様こそ救い主だとしっかり信じていきます。・・・ アーメン。

- 1、み言葉を書きましょう。今日は、「永遠のいのち」と「再臨」と「復活」の関係を学びます。

1テサロニケ4・17

- 2、ローマ6・23を見て、 に書きいれよう。

『罪の支払う報酬は である。しかし神の賜物は、

わたしたちの主キリスト・イエスにおける である。』

- (1) 聖書のルールは「罪があれば死ぬ」ということです。これを逆に言うとどうなりますか。

がゆるされれば

- (2) 聖書のルールは「罪がゆるされれば死なない」と言いかえられます。では、聖書に出てくるペテロやパウロは、今、地球上のどこにいらっしゃるのでしょうか。〔〕

今までイエス様を信じてきたクリスチャンも一人残らず死にました。いったい、これはどういうことでしょうか。実は、聖書の言う「永遠のいのち」とは「復活するいのち」また「永遠にイエス様といっしょにいられるいのち」のことです。今のこの体がずっと死なない、ということではないのです。

- 3、すべての土台「イエス様」・・・イエス様の生涯を思い出してみよう。下の の中に、（誕生 死 復活 昇天 再臨）のどれかの文字を入れて文を完成させよう。

イエス様は、クリスマスにベツレヘムの馬小屋で されました。33才のとき人間のすべての罪を背負って十字架で なれ、三日後に され、復活の体を弟子たちに40日にわたって見せてくださいました。そして、天の父なる神のもとに帰られました。これを と言います。そして将来、まだいつかはわかりませんが、クリスチャンたちを迎えるために、この地上に されるのです。

- 4、このイエス様がもう一度地上に来られる再臨のときに、死んでいたクリスチャンが復活するのです。その復活の順番について、「I コリント15・23」と「1テサロニケ4・16～17」を調べて に書き入れよう。

①まず最初に です・・・でも、これは2000年前に実現しています。

②次に、すでに 墓の中にいたクリスチャンがよみがえります。

③3番目に、イエス様の再臨のときにまだ生きているクリスチャンが、たちまち復活の体に変えられ、イエス様のもとに引き上げられるのです・・・私たちもこの恵みにあずかりたいですね。

③ 神様、イエス様の再臨のとき、私も復活することを感謝します・・・アーメン。